別紙様式5

令和7年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：　静岡県
農業委員会名：　藤枝市農業委員会

Ⅰ　農業委員会の状況（令和7年4月1日現在）

※「Ⅰ　農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1　農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日　令和5 年 7 月 20 日

任期満了年月日　令和8 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	17	17
認定農業者	―	4
認定農業者に準ずる者	―	2
女性	―	3
40代以下	―	1
中立委員	―	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	14	14	10

2　農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	2,137
農業経営体数	1,068

※　直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	1,411
女性	559
40代以下	83

※　直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	119
基本構想水準到達者	303
認定新規就農者	16
農業参入法人	33
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	853	1,200	0	0	0	2,050

※　直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ　最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

（1）農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	2,050 ha	907 ha	44.2 %
課題	農業従事者の高齢化、後継者不足等により農家人口が減少する中、認定農業者、新規就農者の担い手をさらに確保し、支援する必要がある。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう（以下同じ。）

②目標

農地の集積の目標年度	12 年度	集積率	80.0 %
今年度の新規集積面積	20 ha	農地面積(C)	2,050 ha
今年度末の集積面積（累計）(D)	927 ha	（目標）今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	45.2 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	△ 4 ha	農地面積(F)	2,050 ha
今年度末の集積面積（累計）(G)	903 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)／(F)	44.0 %
目標に対する達成状況(H)／(E)	97.4 %		

農業委員会の点検結果	新規の貸し出し希望については地域計画の目標地図を参考に検討するなどしながらマッチングを行ったが、目標の集積面積を達成することはできなかった。 今後も法人を含む新規参入の掘り起こしをしながら、公社やJAと連携しきめ細やかな農地のマッチングを行っていきたい。

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積（フロー）を記入

※2 今年度末の集積面積（累計）は、年度末時点の集積面積（ストック）を記入

（2）遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	213.0 ha	171.0 ha	42.0 ha
	農業従事者の高齢化や営農意欲の低下等により、遊休農地の新規発生が増加傾向にあること		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	95.0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	19.0 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	63.0 ha

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	地域での農地利用意向に基づき基盤整備を計画し、遊休農地を解消していく

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	13.0 ha

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0.1 ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	0.5 %

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	荒廃農地再生・集積促進事業を活用し、計画的に黄区分の解消方針を定めた工程表を作成した。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	ha

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	R7.6月～R7.10月		R7.10月～R8.3月	
	1号遊休農地の面積	202.4 ha	うち緑区分の遊休農地	158.3 ha
			うち黄区分の遊休農地	44.1 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	実施なし		R8.3	

農業委員会の点検結果	農地パトロールにより、遊休農地実態把握や農地の違反転用調査を行ったが、農地の形状が悪く利用権設定に結びつかない事例も多く、目標の解消面積には届かなかった。 農業者の高齢化等により担い手の減少が続き、耕作再開による遊休農地の解消よりも維持管理するための活動となるケースが多く見受けられる。

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	R4年度新規参入者	R5年度新規参入者	R6年度新規参入者
	14 経営体	13 経営体	14 経営体
	12 ha	6 ha	8 ha
課題	新規参入者の支援や負担軽減のために、市独自の「農業ワンストップ支援窓口」を設置しているが、支援窓口の一層のPRを行う。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
	60 ha	70 ha	57 ha	62 ha

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	6.2 ha

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		8.9 ha	
公表URL		(その他の公表方法)	窓口にて
目標に対する達成状況(B)/(A)		142.7 %	
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	16 経営体
		取得農地面積	8.9 ha

農業委員会の点検結果	新規就農した経営体の希望する箇所との農地のマッチングがうまくいった結果、目標を達成することができた。 今後も関係機関と連携しながら新規就農希望者の発掘に努め、丁寧な対応をしていきたい。

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	5 日／月	最適化活動を行う農業委員の人数	17 人
		農地利用最適化推進委員の人数	14 人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3 回

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月～10月	②遊休農地の解消	農地パトロールにより遊休農地の状況確認をする

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入
※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	3 回

取組時期	取組項目	強化月間の結果
5月	②遊休農地の解消	遊休農地に関して研修会を実施し、タブレットの使用方法を学んだ
9月	②遊休農地の解消	農地パトロールにより遊休農地の状況確認を行った
10月	②遊休農地の解消	農地パトロールにより遊休農地の状況確認を行った

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

（3）新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1　　回

開催時期	2月	相談会名	新規就農現地見学会
参加者数	2人	開催場所	県内
相談会の内容	静岡県主催「がんばる新農業人支援事業」での研修先で、生産者の説明会や生産現場の見学をする		
開催時期	令和〇年〇月〇日	相談会名	0
参加者数	0	開催場所	0
相談会の内容	0		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
（参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする）

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	0　　回

開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
（参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする）

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する（評価点欄は追加しない）

目標の達成状況の評語

目標に対して期待を上回る結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	0
目標に対し期待を上回る結果が得られた	1
目標に対して期待どおりの結果が得られた	7
目標に対して期待を（やや）下回る結果となった	23

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入